



プレスリリース

## インフォシスと英ロールス・ロイス、共同の「航空宇宙エンジニアリング・デジタル革新センター」を

### インドに開設して、戦略提携を拡大

バンガロール（インド） - 2022年4月7日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである[インフォシス](#) (NSE, BSE, NYSE: INFY)と世界屈指の工業技術企業である[ロールス・ロイス](#) は7日、インドのバンガロールに両社共同の「航空宇宙エンジニアリング・デジタル革新センター」を開設しました。このセンターは、インドでロールス・ロイスのエンジニアリングおよびグループ事業サービスに対し、高度なデジタル機能を備えた最高品質の研究開発（R&D）サービスを提供するために設立されました。インフォシスとロールス・ロイスはこの戦略提携により連携体制を強化し、今後7年間で両社の相互の利益拡大を目指します。

**ロールス・ロイスのインド・南アジアの社長である Kishore Jayaraman 氏**は、この新しいセンターについて次のように述べています。「インフォシスとの戦略提携は、両社がエンジニアリングとデジタル革新分野の強みを活かして民間航空宇宙市場の成長を加速できるエキサイティングな機会です。航空宇宙セクターはインドや世界中で復活と成長の態勢が整っていることから、この共同革新センターはロールス・ロイスの世界のエンジニアリングのエコシステムを強化し、将来当社に優位をもたらすでしょう。」

**ロールス・ロイスのグローバル事業サービス・ディレクターである Astrid Hartmann 氏**は次のように付け加えました。「インフォシスは当社にとって価値のあるパートナーであり、この提携から生まれる力が当社のシェアードサービスのポートフォリオを強化し、事業に大きな価値をもたらすと信じています。引き続きインドにコミットし、この市場の豊かな人材と可能性を活用していきたいと思えます。」

**インフォシスのエグゼクティブ・バイスプレジデント兼製造グローバル長の Jasmeet Singh** は今回のプロジェクトについて次のように語りました。「ロールス・ロイスとの提携を拡大し、インドにおけるエンジニアリングと業務プロセス管理シェアードサービスの



デジタル変革に携われることを嬉しく思います。当社はロールス・ロイスの触媒となり、効率と有効性と経験を提供しながら継続的な変化を促し、持続可能な価値のエコシステムを形成していきます。今回の提携拡大は両社の長年の協力関係の証であり、両社が航空宇宙、防衛、製造セクターにおいて新たな記録を打ち立てる環境は整っています。」

この提携でインフォシスとロールス・ロイスは、両社の航空宇宙、エンジニアリング、デジタル・サービスの機能を組み合わせ、デジタルおよびエンジニアリングのイノベーションと関連コスト最適化の戦略を推進する機会を模索します。同国の現地人材プールを拡大することで、両社はグローバルな民間航空宇宙エコシステム向けの製造エンジニアリングのサービスも提供できるようになります。



共同航空宇宙エンジニアリング・デジタル革新センターの開設を祝うロールス・ロイスとインフォシスの幹部

過去 10 年間、ロールス・ロイスはインドでのエンジニアリングと研究開発サービス拡大の試みの一環として、多領域のエンジニアリングセンターをバンガロールに設けていましたが、2020 年 12 月にインフォシスとロールス・ロイスがロールス・ロイスの民間航空



宇宙事業向けのエンジニアリングおよび研究開発サービスのソーシングでの提携を発表し、ロールス・ロイスはエンジニアリングセンターの大部分の機能をインフォシスに移しました。インフォシスはこの領域における経験や専門知識、投資を引き続き活用して既存の機能やエンドツーエンドのソリューションを強化しながら、顧客の運用コストを最適化していきます。

### ロールス・ロイスについて

ロールス・ロイスは社会を繋ぎ、社会に力を与え、社会を守る重要な力を開拓しています。当社は 2030 年までに事業由来の温室効果ガスの実質ゼロ排出（製品テストは除く）を宣言しており、国連の 2020 年「Race to Zero（ゼロへのレース）」キャンペーンにも参加して、当社が関わるセクターが 2050 年までに実質ゼロ排出を達成するための基本的な役割を果たすという大きな目標にコミットしました。当社の顧客は 150 か国以上に及び、これには 400 社以上の航空会社とリース会社、160 の陸海軍、5,000 社以上の電力および原子力会社が含まれます。2021 年の年間基礎的収益は 109 億 5,000 万ポンド、基礎的営業利益は 4 億 1,400 万ポンド、研究開発投資は 11 億 8,000 万ポンドでした。また、大学 28 校のテクノロジーセンターのグローバルネットワークをサポートしているため、当社のエンジニアは科学研究の最前線にあります。Rolls-Royce Holdings plc は株式公開会社です。詳しくは [www.Rolls-Royce.com](http://www.Rolls-Royce.com) をご覧ください。

### インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 50 か国以上でお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NSE, BSE, NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、[www.infosys.com](http://www.infosys.com) をご覧ください。

### セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらの記述は、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為



替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドでの人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2020 年会計年度（2021 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、[www.sec.gov](http://www.sec.gov) でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

#### **お問合せ先**

インフォシスリミテッド日本オフィス

安藤 : [mktg\\_jp@infosys.com](mailto:mktg_jp@infosys.com)